

本郷第三地区の町名とその由来

鍛冶ケ谷一丁目・二丁目（かじがや）[平成8年10月21日設置、住居表示]

平成8年の住居表示施行に伴い、鍛冶ケ谷町、中野町の各一部から新設された町です。町名は、従前の町名「鍛冶ケ谷町」から採りました。二丁目の北西側を根岸線が通り、一丁目と二丁目の境を鎌倉街道が通っています。

鍛冶ケ谷町（かじがやちょう）[昭和14年4月1日設置]

昭和14年の横浜市編入の際、鎌倉郡本郷村大字鍛冶ケ谷から新設された町です。昭和61年11月3日の行政区再編成に伴い、(旧)戸塚区から編入されました。町名は旧村名を採りました。古くは鎌倉郡鍛冶ケ谷村といい、明治22年の市町村制施行の際、中野村、上野村、公田村、桂村、小菅ケ谷村、笠間村と合併して本郷村大字鍛冶ケ谷となりました。鎌倉時代に、武具を作る鍛冶師が居住していたことから「鍛冶ケ谷」と呼ぶようになったといえます。南東側を根岸線が通っています。

上郷町（かみごうちょう）[昭和14年4月1日設置]

昭和14年の横浜市編入の際、鎌倉郡本郷村大字上野から新設された町です。昭和61年11月3日の行政区再編成に伴い、(旧)戸塚区から編入されました。古くは鎌倉郡上野村（上之村と書いたものも多い）といい、本郷六か村の上の方にありました。明治22年の市町村制施行の際、鍛冶ケ谷村、中野村、公田村、桂村、小菅ケ谷村、笠間村と合併して本郷村大字上野となりました。町名は「上野町」が既に中区にあるため、旧村名「上野村」の「上」と前村名「本郷村」の「郷」を結び付けて「上郷」と名付けられました。町内の北東側外周をいたち川が流れ、環状4号が通っています。町内に上郷・森の家、瀬上市民の森、自然観察の森、証菩提寺(しょうぼだいじ)、はたおり地蔵がある桂山公園（こどもログハウス・ロッキーがあります）、横浜霊園、鎌倉カントリークラブなど、町の周辺に自然が多く残っています。

中野町（なかのちょう）[昭和14年4月1日設置]

昭和14年の横浜市編入の際、鎌倉郡本郷村大字中野から新設された町です。昭和61年11月3日の行政区再編成に伴い、(旧)戸塚区から編入されました。古くは鎌倉郡中野村といい、明治22年の市町村制施行の際、鍛冶ケ谷村、上野村、公田村、桂村、小菅ケ谷村、笠間村と合併して本郷村大字中野となりました。本郷の中央に位置することから「中之村」と呼ばれていたのが、「中野」に転訛(てんか)したといえます。中央をいたち川が流れ、環状4号が通っています。

元大橋一丁目・二丁目（もとおおはし）[昭和48年6月11日設置、住居表示]

昭和48年の住居表示施行に伴い、鍛冶ケ谷町、上郷町、中野町の各一部から新設された町です。昭和61年11月3日の行政区再編成に伴い、(旧)戸塚区から編入

されました。町名は字名「大橋谷戸」から「元大橋」と名付けられました。既に南区に「大橋町」があるため「元」の字を冠しました。

若竹町（わかたけちょう） [昭和48年6月11日設置、住居表示]

昭和48年の住居表示施行に伴い、上郷町、中野町の各一部から新設された町です。昭和61年11月3日の行政区再編成に伴い、(旧)戸塚区から編入されました。町名は、この地には新しい住民が多く、「若く、すくすくと竹のように町が育ってほしい」という地元の意見から「若竹町」と名付けられました。

柏陽（はくよう） [平成7年10月16日設置、住居表示]

平成7年の住居表示施行に伴い、鍛冶ヶ谷町、桂町、上郷町、公田町、小菅ヶ谷町、中野町から新設された町です。町名は、地元で親しまれている「柏陽」から採りました。これは、町内にある高校の校名として、神奈川県知事内山岩太郎が命名したもので、この地が、「柏尾川の流れに近く、富士山に続く丘陵を背にして、日あたりがよく前面が開けて、野の趣を残している。陽には太陽の輝き降昌の気がこもっている。」学園建設地として恵まれた環境を考え、あわせて柏尾川の「柏」と太陽の「陽」を結んで、最終的に命名されたといえます。南側をいたち川が流れ、北側を根岸線が通っています。町内に神奈川県立柏陽高校、市公社柏陽団地があります。